

令和8年

市長所信表明(骨子)



◀全文は公式ホームページ・行政資料室で閲覧できます

令和8年第2回多摩市議会定例会で、阿部市長が所信表明を述べました。その概要をお知らせします。

☎1020071 企画課 ☎(338)6813 ・ FAX(337)7658

はじめに

5期目に臨むに当たっても、基本的な考え方・姿勢(社会で弱い立場にある存在にしっかり目を向ける、公正で自由な社会の実現に貢献する、持続可能な市政運営のモデルの模索)は変わりません。改めて初心に立ち返り、しっかりと貫きます。

世界情勢が緊迫する中、日本は国際協調を前提とした平和外交に徹し、リーダーシップを発揮すべきです。中東情勢の長期化に対応するため、市長会として国や東京都への緊急要請とともに、本市として適切な対応を取っていきます。

今後4年間の挑戦

市民・議会の皆さんと共に「命を守り、地域を守り、仕事を守る」挑戦を進めます。

「命」を守る

・ 気候危機・防災対策の推進

省エネ推進・再エネ導入、使い捨てプラスチック削減、多摩市気候市民会議などの取り組みを進めます。学校・家庭・地域で「命」を守ることを第一に、小学校体育館などへ空調・断熱施策や熱中症対策を進めます。

首都直下地震や風水害への備えとして、資機材の老朽化対策、要配慮者対策の強化、消防団ポンプ車の更新などを進めます。

・ 地域医療・健康まちづくりの推進

日本医科大学多摩永山病院の建て替えに向けた協議が再開しました。今後も東京都の協力をいただきながら協議を進め、建て替えに向け道筋を描きます。誰もが地域で安心して暮らせるよう、医療・介護・福祉で連携し、医療提供体制の確保、地域の見守り機能の強化などに取り組みます。

本市の65歳健康寿命は、都内トップクラスを維持しています。健康ポイント事業「TAMAるんるん」・健康!ワーク宣言企業の取り組みなどを通じ、市民の皆さんの健康的な生活の獲得を支えます。

・ ジェンダー平等・誰一人取り残さないまちづくりの推進

子ども、ひとり親、障がいのある方、困難を抱える女性など、誰もが安心して住めるまちづくりを進めます。

本年は、アイスランドのレイキャビク市と姉妹都市の提携に向け踏み出します。先進事例を学び、ジェンダー平等、女性活躍、差別がなく、誰もが自分らしくいられることが「当たり前」となる社会をつくりたい。



▲駐日アイスランド大使による中学校での講演会

「地域」を守る

・ 「こどもまんなか」をさらに推進

「子育てしやすい」自治体ランキングで東京圏5位、直近3年間で0～39歳が約1,600人転入超過しています。さらに子育て世代に選ばれるまちを目指し、こども誰でも通園事業・放課後子ども教室の拡充、学童クラブの校内化に取り組み、朝の見守り活動に挑戦します。

国や東京都などと連携し、周辺相場よりも低価格の若者・子育て世代向け住宅「アフォードブル住宅」の市内供給に向け取り組みます。

不登校や学校へ行きづらい子どもたちを応援するため、来年度には諏訪複合教育施設「かけはし」に学びの多様化学校と発達支援センターを開設します。

学校給食センターの建替整備に取り組むとともに、今後もアイスランドの伝統食・地元野菜の使用など「おいしい給食」を提供します。

中学校部活動の地域展開など子どもたちを主役とした地域づくりに取り組むとともに、少子化の進行を見据え、新しい学校づくりに向けた検討を進めます。

「戦争の悲惨さと平和の尊さ」を次世代へ伝えるため、「子ども被爆地派遣事業」など平和を大切に作るまちづくりを推進します。

・ 市民自治によるまちづくりの推進

市民の皆さんによる多様な意見を最大限反映するため、無作為抽出によるワークショップなどに取り組みます。「子どもみらい会議」における、子どもたちからの提案・意見表明も反映します。

若手職員

による「協創

サポーター」

などさまざま

な取り組みを通じ

地域の多様な

活動を応援

します。



▲子どもみらい会議：各学校からの発表の様子

旧統一教会による土地取得問題について、本市として市民の皆さんの不安の解消に向け、動向を注視し、適切に対応します。

「仕事」を守る

・ 地元企業・都市農業・公共交通の推進

いざ災害に直面した際、最も早く対応いただくのは地元企業の皆さんです。

来年4月から多摩市公契約条例の対象となる契約の年齢制限を撤廃します。物価高騰の中で不安なく契約できるよう適正価格での契約発注の取り組みを進めます。

市内農家への支援や後継者・担い手の確保、市内産野菜の認知度向上・販路拡大に取り組みます。

運転手不足の解消に向け、都内初の大型バス自動運転の実証運行を行いました。さらなる取り組みを推進します。



▲大型自動運転バスの実証運行

昨年、東京都の「空飛ぶクルマ実装プロジェクト」の事業者が決定しました。事業エリアには、多摩川上空も予定されており、本市として積極的に連携・協力します。

・ さらなるまちの活性化

聖蹟桜ヶ丘駅エリアは、国土交通大臣から表彰を受けた「せいせきカワマチ」と、アニメなどの連動でさらなる魅力向上を図ります。

多摩センター駅エリアは、乞田川沿いでサンリオピューロランドとコラボレーションライトアップを実施します。まち全体がテーマパークとなるエンターテインメントなまちを目指します。

永山駅エリアは、諏訪・永山地区で団地再生の取り組みが進んでいます。今後とも関係者と連携しながらまちづくりを進めます。

観光の視点から「アイスランド風まちバル」や宿泊施設の誘致に向けたPRなどを行います。

本市と協定を締結している東京ヴェルディや読売巨人軍との連携を一層深めます。サンリオピューロランド、日本アニメーション、パルテノン多摩など多くの関係者と共に取り組むを進めます。

DX・市役所改革の推進

新庁舎整備を見据え、行政手続きのオンライン化を最優先に進め、住民利便性の向上と業務効率化を図ります。4月から開始した「おくやみコーナー」、ワンストップ窓口の検討など、待たない・迷わない・分かりやすい窓口を整備します。

公共施設は、長期的な視点に立った適正管理と有効活用を通じ、持続可能な行財政運営を実現します。

SNSなどでの情報取得が中心の若い世代も気軽に情報を得られ、活用できる環境づくりを進めます。

職員一人ひとりが、より意欲を持って安心して働ける環境づくり、人財確保に向けた取り組みを進めます。

むすびに

改めて「市民主権」「ポジティブ多摩」「市役所改革」を目指すとの原点に立ち返り、市民の皆さんの声なき声にしっかりと耳を傾け、熟議による民主主義を根底に据え、この4年間、全力で市政運営にあたります。

